

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービス レインボー		公表日		2026年 3月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・落ち着いて過ごせるスペースと身体を大きく使って遊べるスペースと分けていて良い	・利用児童が成長し、高学年・中学生が増えてきて体格や特性の差が出てきているので、空間を区別し、更に共生できるように工夫していきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・定員人数は、規定の10名を厳守して運営をしております。 ・職員配置は、子ども家庭庁のガイドラインに沿って運営している。自発官1名・常勤2名・パート1~2名で人員に余裕を持って運営している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・毎週職員会議では、児童の特性・発達段階を踏まえて施設全体の環境設定の見直し、送迎時乗車環境などに職員間で確認、見直しながら運営を心掛けている。 ・活動場所のコーナー分け、物の定位置、片付けのルールを視覚化し、動線上の身辺自立が育まれるよう心掛けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日、整理・整頓をルーチンワークに取り入れ環境設定の見直しに繋げるよう心掛けている。 ・児童にも身辺整理・掃除習慣付けを徹底している。	・こどもたちの成長とともに定期的に環境設定や使用物の整理をしていきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・体調不良・痙攣時のクールダウンなど落ち着いてリセットし気持ちや体調を整え直せる部屋がある ・別室のほかにはパーテーションが用意されて視覚的に配慮が必要な場面にも対応できるよう心掛けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・始業時には1日のテーマ・目標、ゴール設定などを共有し、終業時には振り返りを行う。	・日々の療育の温度差も繋げられる様全員が参加できる様オンラインを活用しながら今以上に明確化していく事が課題	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・評価評から保護者の意向を把握する中で課題を抽出し事業所の理念と大きく異なる内容には即取り組みの見直しをしていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月に一度、全体でのミーティングが出来ている。 ・常に話してできる環境があり、日々確認し意思疎通できている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・行政書士を交え子供家庭庁や神戸市の基準から外れない様定期的な客観的な立場から見直しを実施して頂いている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・オンラインの研修動画の視聴などとても充実している。 ・運動や実技的な講習参加もありスキル向上の機会を作っていた。	・実例や予測を踏まえた分かりやすい研修を実施していきたいです	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・共生・工夫・自立・体験・楽しむをテーマに児童一人一人の課題と集団課題視野に入れプログラムを作成しています。月の初めに予定プログラムを公表し見直しを持ちながら療育を受かられるよう心掛けている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・計画書やモニタリングとても細かく記載されているので支援に迷った際に目を通し確認し直し支援出来ている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・勤務前、勤務後のミーティングが毎日行われている中で共通理解の確認は実施している	・日々の成長や変化に計画の変更や対応の変更が迅速にできるように心がけていきます	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・1日の始まりに必ず子どもの様子、直近の出来事を共有して取り組んでいる ・全員の理解もあり、日々の活動に統一がある		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		・職員一人一人映画、「何のために記録が必要か」「どんな記録方法が適せ説なのか」を考えて対応できるスキルを身に付けていくことが課題	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・計画書を基に（目標）に対するアプローチをスモールステップで視覚化し全員で共有・確認・実行できるように実施している ・「させる」「指示」「禁止」ではない声掛けや療育を心掛けている。 ・保護者とともに療育通所「卒業」を目指し、地域や習い事に移行していく事を楽しみながら日々を積み重ねて行ける支援を心掛けています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・アイデアを出し合い、小さな意見を取りこぼさず役割分担しながらチーム全員で協力し、互いの得意分野を生かして行けるような立案を心掛けている。	・職員間の連携を今後もしっかりと図っていききたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎週、場所やパターン・テイスト・テーマを変え、保護者への金銭負担がないプログラム実施するよう心掛けている。 ・職員全員で情報収集し色々なアイデアを出し合い試行錯誤している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・1日の中で発達段階に応じ同じテーマの活動であっても活動過程の工夫を心掛けています。必要に応じ柔軟に個別活動に変更しても必ず集団の活動に繋げられる様心掛けています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・始業時には1日のテーマ・目標、ゴール設定などを共有し、終業時には振り返りを行っている。	・どちらも大切なので偏りがないようしっかりと取り組めるよう支援計画の作成をしていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・職員で必ずミーティングがある ・勤務後のミーティングでは、詳細までしっかりと話し合いが行われている ・日々発見や気づき、反省があり次につながっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・毎日の子どもの状況や体調などをその都度情報共有している。	・その日の出勤者だけではなく、出勤していない職員にも内容だけではなく温度差も伝わるよう改善していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・勤務の携帯関係なく児童に関わる職員が定期的なモニタリングに参加し個別の意見を出し合い見直しが出来ている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	・本人支援①日常生活の充実と自立支援のための活動②多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④子供が主体的に参画できる活動を軸に活動や支援を心掛けています。	・③他業所交流や地域のイベント参加・地域の公園で地域児童との関わりも多いため保護者向けには発信出来ていなかったため積極的に配信し、引き続き積極的に参加していきたいです
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・おやつは金額内で計算し選ぶシステムで我慢・配分など調整し自己選択に繋がっている ・クッキングの際には調理の過程でバイキング方式でカスタマイズしていく。他者との調和・調整・自分のイメージに近づけられる様な環境構成を心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・基本的には児童発達管理責任者が参加する事が多いですが、必用に応じ現場の職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・各関係者から信頼性が浸透し連携依頼が来るような職員の質、事業所の質を高めて行けるよう心掛けている。学校参観・支援会議・リハビリ見学など積極的に連携を継続していける様心掛けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・学校から予定表を頂いたり、イレギュラー時には電話連絡で連携できている。特変時にはお迎えの際にその日の様子を必ず共有し保護者に伝えるよう心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・引継ぎ書を頂いた園や自発に実際に見学にいき話を聞きに情報収集する様に心がけている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・対象児童がいらないため必要に応じ情報提供し児童がスムーズに以降できる様引継ぎしていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	・積極的に地域の児童発達支援センターの開催する支援者研修に参加するようにしています	・連携体制が始まったところなので、双方で話し合いながらよりよい連携ができるようにしていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・他業所者との合同イベントなどに参加して子どもや職員の交流や情報交換もできている ・地域の公園で積極的に遊び、その際に子ども同士で仲良くなり一緒に遊ぶ姿や機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	・2ヶ月に1回必ず職員が参加し地域の幅広い福祉事業所との繋がりがりや情報交換を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・アプリや電子連絡帳を使用し文章と写真必要に応じ動画で伝え合える関係性を作りながら積極的に共通理解を図ろう心掛けている。	・今後も職員間で連携を図りながら、保護者が安心して通所させられる体制づくりをしていきたい
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・家族との情報共有や交流出来ているが、具体的なペアレントトレーニングは今、模索中。保護者の方にとって参考になる情報や研修をもっと発信していきたい	・事業所でのペアレントトレーニングをいづれかは実施したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行うよう心掛けている。運営規定に変更などがある場合は都度、訪問し説明しサインを頂いている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・毎回、イベントがある際や、休校日の際は、その日の予定を発信して、協力を得ている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・毎回訪問し計画説明を行い同意書を頂いている。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・送り迎えの際に児童の様子を話す機会を持ち質問、相談等は管理者と共有して随時、家族支援に繋げる様心掛けている。 ・児童の様子から、保護者の不安を読み取れた際には必要に応じて電話面談・訪問面談を心掛けている。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	・長期休みを利用し兄弟と一緒に療育に参加し互いに認め合えるようなイベントを実施しています。対象児童だけでなく、周囲の利用児童にもいい刺激が見られたので頻度を増やしていきたいです。	・父母の会・保護者会の目的を見極め開催を検討していきたいです★研修案内・保護者にとって有益な情報を集め配信していきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情に対する原因や対策を即日職員で話し合い保護者に紙面で報告するようにしている ・規定や倫理に反する苦情や依頼は傾聴し、改善できない理由を紙面上で報告している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・公式LINEでの定期的なプログラムの配信・感染症の注意喚起・お知らせの配信は定期的に行っている。 ・施設の活動の全体配信が難しい児童には、臨場感が伝わる様な姿の動画、児童の素敵な姿を共有している。	・HPやSNSの活用の必要性を見極め慎重に活用していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報の取扱いに十分留意している。 SNSの発信は出来るだけ個別に行っている	・SNS・ホームページの連載には個人が特定できない様配慮して必要最低限の連載を検討している
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・特性や発達段階で必要に応じ活動過程の動画や写真を共有し現状や成長課題を細かく情報交換し支援に繋がられる様に心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・近所の方々に積極的に挨拶や声掛けて活動を参観されることもあります。	・今後、もっと近隣の方との交流を増やしていきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・事業所では2か月に1回子どもとの避難訓練はしている。	・保護者への避難経路・避難時の直取りなどの周知は不十分でしたので見直し周知できる安心して頂ける様にしていきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・事業所では2か月に色々なパターンを想定し避難訓練を実施している	・職員間で話し合いながらこれからも必要な訓練を実施していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・マニュアル想定動画を見て常に緊急時をイメージ役割分担し対応できる様心掛け定期的に職員全体で確認しています	・利用前の聞き取り面接にて保護者へ聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知徹底をしていく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・家族と情報が更新された際には詳細を記入して頂いている。	・利用前の聞き取り面接にて保護者へ聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知徹底をしていく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		・マニュアルに沿って職員訓練は行っているが保護者への避難経路・避難時の直取りなどの周知は不十分でしたので安全管理見直し共有・発信していきます
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		・避難時の保護者用の手順書を作成周知徹底していきます
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・毎日の終業時には、活動を振り返りヒヤリハットを共有して再発防止や環境の見直ししんい繋がられる様にしている。	・今後もしっかりと対応していきたい
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止にあたる実例研修、オンライン研修を受講し現場を想定した、ケーススタディを行っている	・今後もしっかりと対応していきたい
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		・対象児童や可能性がある児童には記載し、保護者に想定する場面のを詳しく説明の実施を行います	